

(10). 下北沢の赤提灯、心地よい昭和のぬくもり “シモキタ・ラヴァーズ”あなたは賛同しますか？

戦後の闇市の面影を残した下北沢駅前商店街。昼間は大型ドラッグストアの派手な店構えに隠れ、その存在を消していますが、夜になると1軒、2軒……と静かに屋台スタイルの呑み屋が赤提灯を掲げます。3畳ほどの店内にカウンター。自然と隣にいる常連さんと会話も弾み……。人と人の距離が、ここでは異常に近いのです。戦後昭和26年創業という「おでん節子」（写真左）は商店街の夜の顔。この地に50年以上の2代目のおやじさんは力なげにつぶやきます。「今度ばかりはホントにやるみたいだよ。終わらだね」そう、この駅前商店街、都市計画の一環でこの春の取り壊しがほぼ決定らしく。路地裏感たっぷりのあの空間がなくなる!? これはなんとかせねば! そんな思いで、開発に反対するシモキタ・ラヴァーズが立ち上がったというわけで。“昭和のぬくもり”を守っていきたい方、下記のサイトでは賛同メールや、署名なども募っているようです ㊟Save the 下北沢 ☎090・3538・3679 <http://www.stsk.net/>

